

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員のスキルに差があり、職員全員が同じケアを提供できていないことがある。	職員全体のスキルアップ、ケアの統一、質の向上。	内部研修の充実を図り、全ての職員が自信を持ってケアが行えるよう、質の向上に繋げていく。職員が悩んでいることや困っていることを話し合い、介護職が未経験の方は特に知識や技術をわかりやすく指導する。	6ヶ月
2	26	現在の課題とケアの方法を見直す時にカンファレンスメンバーの意見やアイデアがあまり出ない時がある。意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画にしなければならない。	利用者やご家族の希望を、可能な限り実現出来るように介護計画を作成する。	カンファレンスメンバー以外の職員からも「現在の課題とケア方法」について、記入方式で意見を求める。ご家族が施設に訪問された際に意見や希望をお聞きする。	6ヶ月
3	39	希望メニューは毎月実施しているが、職員の発案でメニューが決まる事がある。(例:ほぼ全員がぼた餅が好きだから、ぼた餅にする)	利用者の好みを詳しくお聞きして、好みの料理や食材を取り入れたメニューの提供する。	利用者の好物や食材を一品取り入れた希望メニューの提供する。(年間で9回実施、9人分)	6ヶ月
4	43	水分摂取量や食事量は記録しているが、便秘傾向の利用者に対して、水分を多く摂るような声掛けは出来ていない。水分を多く摂れる工夫が足りていない。	便秘傾向の利用者へ、水分摂取量増加と積極的な運動の促しを行う。	・飲み物の種類を増やす。好みの飲み物を提供する。 ・おなかのマッサージや便秘に効果のある体操の実施。	6ヶ月
5	51	共用の空間に於いて、季節感の乏しい装飾になっている。又、車椅子利用の方と独歩の方の動線の幅が狭い所がある。	共用空間の環境の適正化と季節感を取り入れた装飾の実施。	・季節を感じる装飾の実施。(装飾掲示専用場所の設定) ・共有スペースレイアウトの再確認。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	・お手伝いをお願いするだけになってしまうことがある。 ・レクリエーション等で楽しむ時間が少ない。	信頼し合える関係を作る。	・利用者に感謝の言葉を伝える。 ・他利用者と協力し、一緒に作業していただく。 ・レクリエーションの時間を設け、楽しめるようにする。	6ヶ月
2	19	・ご家族が、利用者の状態をよく把握できていない事がある。 ・ご家族の意見を十分に取り入れられていない事がある。	ご家族との密な関係を築き、信頼関係を作る。	・利用者の状況や変化をその都度ご家族へ報告し、把握していただけるよう努める。 ・ご家族より意見や利用者の生活歴等を聞き、今後の支援に活かせるようにする。	6ヶ月
3	35	・忙しくなると、口調が強くなってしまふことがある。 ・他の方のいる前で、トイレの声がけ等をしてしまふことがある。	一人ひとりのプライバシーを保護し、安心して過ごす事が出来る。	・常に言葉遣いに気を付け、職員がお互い注意出来るようにする。 ・個々のプライバシーが守られるように介助の際の声掛けに気を付ける。	6ヶ月
4	27	・詳しい状況や利用者の様子、ご家族とのやり取り等の記録が不十分なことがある。	誰が見ても理解できる記録を行う。	・利用者の様子を観察し、忘れずに記録に残すようにする。 ・追加の記録があれば、ご家族とのやり取りも含め、その都度記録する習慣をつける。	6ヶ月
5	13	・学習会等で学ぶ機会はあるが、上手く実践に結びついていない事がある。	職員の知識や技術の向上に努める。	・学習会で学んだ事を復習する。 ・個人での学習にも力を入れていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	<本人を共に支え合う家族との関係> 新型コロナウイルス感染対策の為、ご家族との面会が難しい状況にある。	利用者のご家族が今までの関係を継続していただけるよう支援をする。	ご家族への連絡時に利用者の様子を伝え、今後も協力を仰ぐ。家族希望時、対策をした上で面会を行う。	6ヶ月
2	35	<一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保> 業務が煩雑化すると不十分な声かけとなる事がある。	常に人格を尊重したケアを心掛ける。	職員全員が利用者の方の人格を尊重した声かけを意識しながらケアにあたる。	6ヶ月
3	36	<利用者の希望の表出や自己決定の支援> 利用者の希望の確認を不足している時がある。	常に利用者の希望を確認しながら支援する。	利用者に関わる際には、本人の意思を確認してからケアにあたる。	6ヶ月
4	13	<職員を育てる仕組み> いざという時の対応に不安がある。 一人ひとりの力量が把握できていない。	各職員の力量を把握した上で、更なるスキルアップに繋がる取り組みを行う。	職員が悩んでいることや困っていることを話し合い、介護職が未経験の方は特に知識や技術をわかりやすく指導する。	6ヶ月
5	34	<災害対策> 災害時の対応に不安がある。	災害時、他ユニットと協力をしながらスムーズに対応する。	災害時の物品を備えると共に、対応についてシュミレーションし、落ち着いて行動する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	認知症が進行し意思疎通が困難な利用者が増えており、関わり合える関係作りが不足している。	一人ひとりが孤立せず関わり合える関係を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の状態を職員間で共有し、利用者同士が関わり合えるよう職員が橋渡しを行う。 座席の工夫を行い、心地よい共有空間作りを行う。 	6ヶ月
2	42	トイレの場所・行為が分からず、排泄の失敗に繋がってしまう回数が増えている。	利用者の行動を把握し、排泄の失敗の回数を減らす。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの排泄パターンからその利用者に合わせて時間帯にトイレ声掛け・誘導・介助を行う。 利用者の言動からトイレに行こうとしている思いを汲み取り、声掛け・誘導・介助を行う。 	6ヶ月
3	13	職員のスキルに差があり、職員全員が同じケアを提供できていないことがある。	各職員の力量を把握した上で、更なるスキルアップに繋がる取り組みを行う。	職員が悩んでいることや困っていることを話し合い、介護職が未経験の方は特に知識や技術をわかりやすく指導する。	6ヶ月
4	34	毎年様々な災害が起きており、落ち着いた行動が出来るか不安がある。	災害発生時、安全かつ迅速に行動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や災害時の他施設での対応の仕方の情報から、緊急時のシュミレーションを行う。 災害による停電・断水に備え準備しておく。 防災用具の点検を定期的に行う。 	6ヶ月
5	33	急変時や事故発生時の対応に不安がある。	緊急時や事故発生時に落ちついた行動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 急変時の対応マニュアルを作成し、職員間で申し送りし、自己学習できるようにする。 職員の技量を把握し、その職員に合った指導を行い、不安な点に関してはその都度解決していく。 	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・いざという時の対応に不安がある。 ・一人ひとりの力量が把握できていない。	各職員の力量を把握した上で、更なるスキルアップに繋がる取り組みを行う。	職員が悩んでいることや困っていることを話し合い、介護職が未経験の方は特に知識や技術をわかりやすく指導する。	6ヶ月
2	40	・利用者の嚥下状態を観察し、その方にあった食事形態を提供しているが、対応が不十分な事がある。	安全に食事摂取できるように、一人ひとりに合った食事形態を理解・把握して対応する。	・利用者の嚥下状態の理解と食事形態の把握を行う。 ・一人ひとりに合った食事形態を準備し、必要に応じてトロミ剤を適切に使用する。	6ヶ月
3	35	・利用者への声かけ方法に、ばらつきが見られる事がある。	相手に対しての言葉使いに気をつけ、安心して過ごせる環境作りを行う。	・言葉使いを常に気をつけ、職員同士で出来ていない時は指摘し合えるようにする。 ・利用者一人ひとりに合わせた声掛けを心がけ、職員同士で情報交換を行う。	6ヶ月
4	21	・仲の良い方同士での関係性は出来ているが、意思疎通が困難な方との関わり合いが少なく感じる。	利用者一人ひとりが孤立せずに、他者と関わりを持って過ごせるよう交流の場を提供する。	・利用者の趣味嗜好を把握し、利用者同士が関わり合える場を提供する。 ・職員が間に入りながら、交流の橋渡しを行う。	6ヶ月
5	27	・記録に利用者の様子や家族とのやり取り等を記入する際、記録が不十分な事がある。	利用者の状態の変化等を、正確にわかりやすく記録する。	・利用者の状態を観察し、必要な事はその都度記入する。 ・誰が見ても分かりやすい文章で、簡潔に記録を行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	業務優先になり、一人ひとりのペースや希望に沿った支援が出来ていない時がある。	気持ちに余裕を持ち支援を行い、一人ひとりのペースを大切にし、本人に寄り添ったケアを行う。	・利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い、傾聴する。得た情報を職員間で共有し、その人らしく生活出来るよう支援する。	6ヶ月
2	35	忙しい時や上手く伝わらない時、依頼と異なる行動ととられた時など、言葉使いや態度が強くなってしまふ事がある。	一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉遣いでケアを行う。	・介助の際は、余裕を持てるよう心掛け、言葉使いや言葉選びに気を付ける。 ・日々の業務の中で職員間で注意しあう。	6ヶ月
3	13	職員のスキルに差があり、職員全員が同じケアを提供できていないことがある。	職員全体のスキルアップ、ケアの統一、質の向上。	・勉強会・研修への積極的な参加。 ・新人職員を中心に、ケア内容・重要性について理解、把握することにより、スキルアップ、ケアの統一に努める。	6ヶ月
4	27	本人の状態やケアの中での気づきが記入されていないことがある。	職員間で情報を共有し、ケアの実践に繋げる。	・気づきを大切に、しっかり記録に残す。また、実践した内容とその結果を記入し、情報を共有し、介護計画の見直しへ反映する。	6ヶ月
5	33	急変時や事故発生時、落ち着いて冷静な対応ができるか不安がある。	冷静かつ迅速な行動がとれる。	・急変時の対応や必要な医療機器の使用方法、連絡体制の再確認。 ・勉強会へ参加・また職員間で確認し、不安要素の軽減に努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。